

「現場ニーズと技術シーズのマッチングイベント」

2019年10月17日(木) 名古屋の吹上ホールにて開催されました、「**インフラメンテナンス国民会議 中部フォーラム 第5回会議** (主催：インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム)」に参加しました。

名古屋高速道路公社様のニーズは、「都市内での効果的な鳥害対策」で、
(新技術に求める要件)

- ・ 高架橋に対し、一定期間以上効果的な鳥害対策技術であること。(5年程度以上持続することが望ましい)
- ・ 足場の無い状態でも、高所作業車等を利用し設置・更新等の作業ができる技術であること。
- ・ 高架橋の振動や風雨などの外部環境に耐え、継続して効果を発揮するものであること。
- ・ 桁や橋脚等構造物からの落下、その他第三者被害のおそれが無いものであること。

に対して、「植物性忌避成分」鳥の飛来防止剤 (バードフリーブ) を提案させていただきました。

(提案概要)

10年以上の実績を有し、レポート需要があり、その効果が確認されている忌避剤で、①植物性なので鳥と共生が可能 ②雨や風に強く、直射日光にも強い ③効果持続期間が長い ④トータルコストに優れる 等が特徴の製品バードフリーブをプレゼン。

本技術は、人間や環境対策だけでなく、コンクリート構造物の保護や美観確保が可能となり、(一社)コンクリート改質協会が目指すコンクリート構造物の長寿命化に一定の効果を有するものと考えております。

① マッチングイベント会場の様子



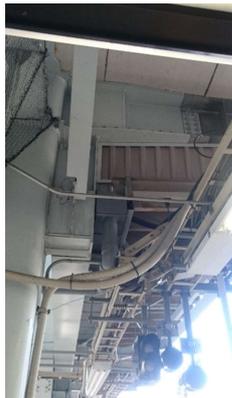
② バードフリーブ設置10年後の様子

(長野県内の駅舎)



③ バードフリーブ設置10年後の様子

(長野県内駅構内)



④ バードフリーブ設置10年後の様子

(長野県内駅構内)



[植物性忌避成分] ハトの飛来防止剤

バードフリーブ®

近づいてきたハトも、しっく寄せつけません。

深刻なハト公害を解消する、飛来防止剤の決定版です。

飛来防止のメカニズム

このメカニズムによりハトは学習し、飛来防止剤のある場所に近づくのをやめます。

- 1

1 触覚による飛来防止効果

ハトがとまりやすい場所に設置すると、足につきます。ハトは足についた触覚の刺激を感じ、嫌います。
- 2

2 臭覚による飛来防止効果

足についた忌避剤が下着に染み、ハトは臭いを嫌います。臭いは鼻にハトは足についた物をとて嫌います。
- 3

3 味覚による飛来防止効果

足についた忌避剤を爪で取ろうとして、ハトはくちばしをつけます。その時、忌避剤が口に入れてしまい、まずい味にびっくりします。

バードフリーブの特徴

- 1 ハトにダメージを与えず寄せつけない。動物と共生しながら飛来防止。
- 2 価格が安く、効果絶大。どこでも施工でき、ピンポイントなので低価格。
- 3 植物性忌避成分で安全。安全性に優れ、手や足についても安心。
- 4 耐候性がある。雨や風に強く、直射日光にも強い。
- 5 効果持続時間が長い。学習能力により、ハトが近づかない。
- 6 他の鳥類にも同じ効果がある。カラスやムクドリ、ツバメ……etc.